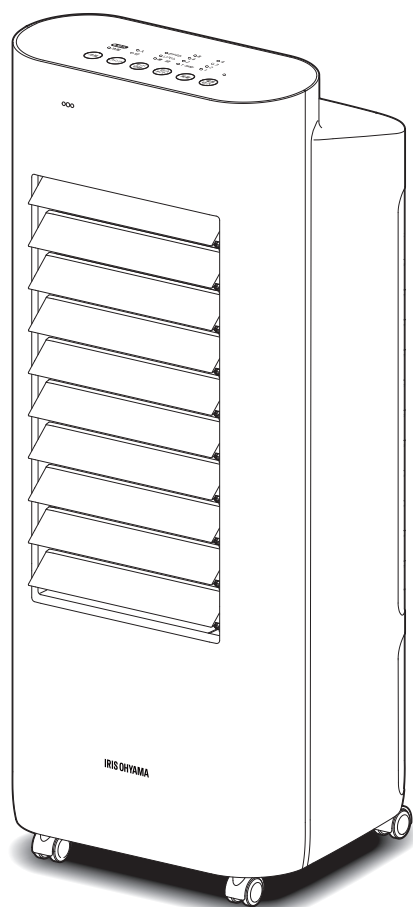




IRIS OHYAMA

室内・家庭用



冷風扇

CTF-01M

取扱説明書

この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

保証書付

(裏表紙)

このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- 使用する前に「安全上の注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見る事ができるよう大切に保管してください。
- 「保証書」は「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

もくじ

ご使用の前に

安全上の注意	2
使用上の注意	4
冷風扇のしくみ	4
各部の名称	5
リモコン	7

取り扱いかた

準備	8
使いかた	9
お手入れ	11

こんなときには

故障かな？と思ったら	14
仕様	15
保証とアフターサービス	15
保証書	裏表紙

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよく読んでいただき、正しく使用してください。
人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味



注意を促す記号です。



禁止を示す記号です。



必ず行うことを示す記号です。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う
おそれがある内容を示しています。

電源プラグ・電源コードは正しく使う



- 電源プラグのほこりは乾いた布で定期的
的に取る
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良に
なり、火災・感電の原因になります。

- 電源プラグはコンセントの奥まで確実
に差し込む
ショートによる火災・感電の原因になります。



プラグを抜く

- お手入れや点検、移動するときは、必
ず電源プラグをコンセントから抜く
感電やけがの原因になります。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをし
ない
感電・やけど・けがの原因になります。



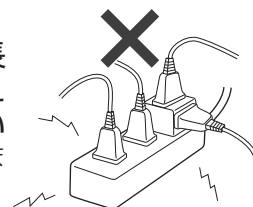
- 電源コードや電源プラグが傷んだり、
コンセントの差し込みがゆるいときは
使わない
ショートによる火災・感電の原因になりま
す。電源コードが破損したときは、修理専
用コールへお問い合わせください。



- 電源コードをたばねて使用しない
過熱してやけどや火災の原因になります。
電源コードは、必ずのばして使用してくだ
さい。

- 電源コードを傷つけない
- 持ち運び時や収納時に電源コードを
引っ張らない
傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ
張る、ねじる、重いものを載せる、はさみ
込むなどしないでください。
電源コードが破損し、火災・感電の原因に
なります。

- コンセントや延長
コードの定格を超え
る使いかたをしない
火災の原因になりま
す。



- 交流100V以外では使わない
火災・感電の原因になります。
- 乳幼児に電源プラグをなめさせない
けがや感電の原因になります。



プラグを抜く

- 異常・故障時には直ちに使用を中止し、
電源プラグをコンセントから抜く
発煙・火災・感電のおそれがあります。

【異常の例】

- ・ 異常な音やにおいがする
- ・ 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
- ・ 電源コードを動かすと、通電したりしな
かったりする
- ・ 運転中時々電源が切れる
- ・ 触れるとピリピリ電気を感じる
- ➔ 使用を中止し、お買い上げの販売店また
はアイリスコールへお問い合わせくださ
い。



- 引火性のもの（灯油・ガソ
リン・シンナーなど）、火の
気のあるもの（たばこ・線
香など）、可燃性のもののそ
ばで使わない
- スプレーをかけない（殺虫
剤、整髪料、潤滑油など）
火災の原因になります。



分解禁止

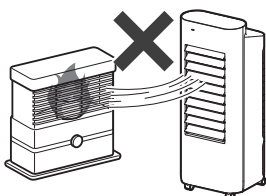
- 分解・修理・改造をしない
収納時のベース取り外し以外は、分解しな
いでください。火災・感電・けがの原因にな
ります。修理技術者以外の方が修理を行うこ
とは危険です。
修理については、お買い上げの販売店または
修理専用コールにご相談ください。



- 屋外で使用しない
故障してショートや火災の原因になります。



- 風をストーブなどの燃焼器具に向けて使用しない
不完全燃焼や炎の飛散を引き起こし、一酸化炭素中毒や火災の原因になります。



水ぬれ禁止

- 水まわり、風呂場など湿気のある場所では絶対に使用しない
- 本体を水につけたり、本体に水をかけたりしない
火災・感電の原因になります。



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。



- 長時間、風を直接身体に当てない
特に、小さな子どもやお年寄りには注意してください。体調が悪化したり健康を害する原因になります。

- 動植物に直接風を当てない
害を与えるおそれがあります。



- 水平で安定した床の上で使用する
毛足の長いカーペットやふとんの上、台の上などに設置すると、転倒して水もれやけがの原因になります。



- 子どもなど取り扱いに不慣れな方だけで使わせたり、幼児に触れさせたりしない
- 乗ったり寄りかかったりしない
転倒して水もれやけがの原因になります。
- 水タンクに水が入ったまま移動しない
水タンクに水が入った状態で移動すると、斜めになったときに水がもれる原因になります。
移動するときは、水タンクの水を捨ててください。

水タンクの水について



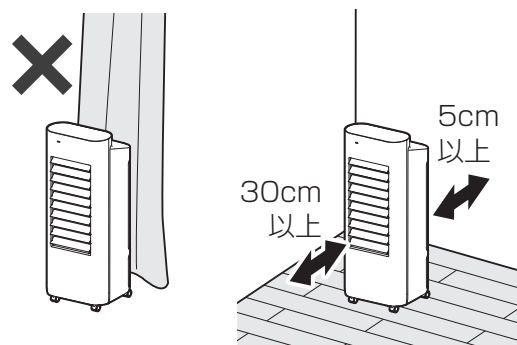
- 毎日新しいものに取り替える
水タンクは毎日洗い、常に清潔にしてください。古い水を使用すると、異臭を発したり健康を害する原因になります。
- 1週間以上使用しない場合は、必ず水タンクの水を捨て、気化フィルターを自然乾燥させる
ぬれたまま放置すると、異臭や周囲の空気の汚れの原因になります。
- 凍結しそうなときは、水タンクの水を捨てる
凍結すると、故障・水もれにより周囲の汚損の原因になります。



- 清潔な水以外使用しない
40℃以上の水・化学薬品・芳香剤（アロマオイルなど）・ミネラルウォーター・アルカリイオン水・汚れた水などは使用しないでください。
異臭や周囲の空気の汚れの原因になります。また、変形・ひび割れ・変色などをおこして水もれの原因になります。



- 風の流れをさえぎるようなものの周囲で使用しない
- 布や紙、ビニール袋などでおおったりふさいだりして運転しない
- 背後の壁などから5cm以上はなす
- 正面は30cm以上はなれて使用する
風の流れがさえぎられると、過熱して火災の原因になります。



プラグを抜く

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
火災・感電の原因になります。



- 業務など家庭用以外で使用しない
本製品は家庭用として設計されています。業務など家庭用以外で使用すると、火災などの原因になります。

安全上の注意 つづき



- 煙や霧が出るくん煙タイプの殺虫剤を使うときは運転しない
気化フィルターに薬剤成分が蓄積し、その後の運転で放出されて、健康を害するおそれがあります。
殺虫剤の使用後は、十分換気してから運転してください。



- 送風口、吸気口、その他のすきまに指や金属などの異物を入れない
感電やけがの原因になります。

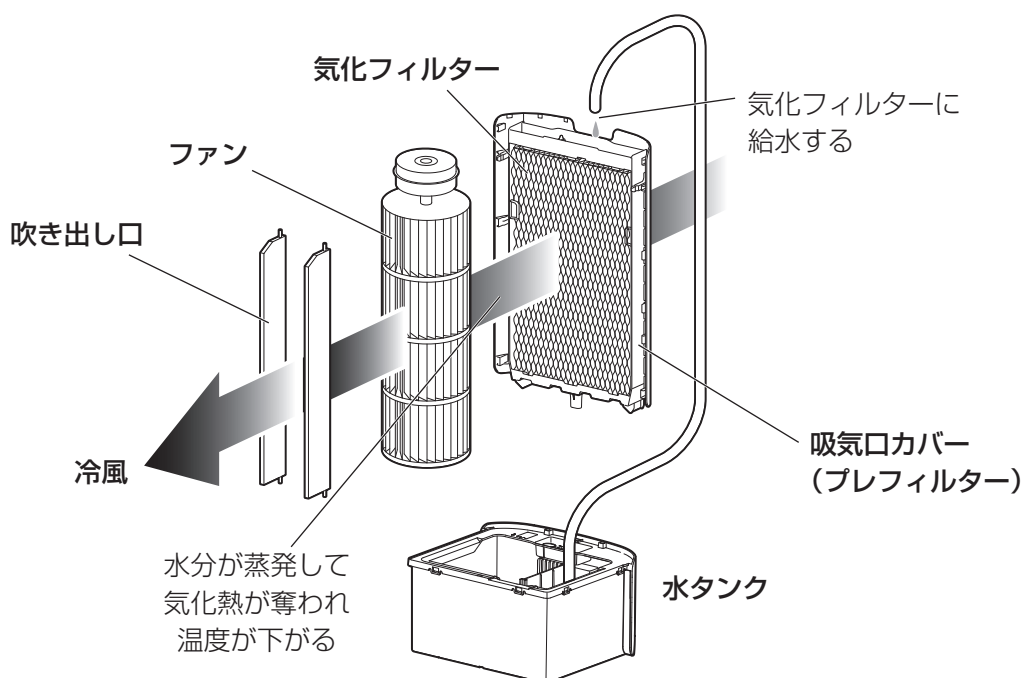
使用上の注意

- 台所など、湿気や油煙の多い場所での使用は避けてください。
長期間そのような場所で使用すると、ほこりが内部に付着して、掃除機などでは取りきれないことがあります。
- 直射日光やエアコン・暖房器具の温風が当たらないところに設置してください。
変形・変色したり、誤動作したりする場合があります。
- ラジオやテレビに近づけないでください。
ラジオやテレビにノイズが入る場合があります。

廃棄について

- 製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

冷風扇のしくみ



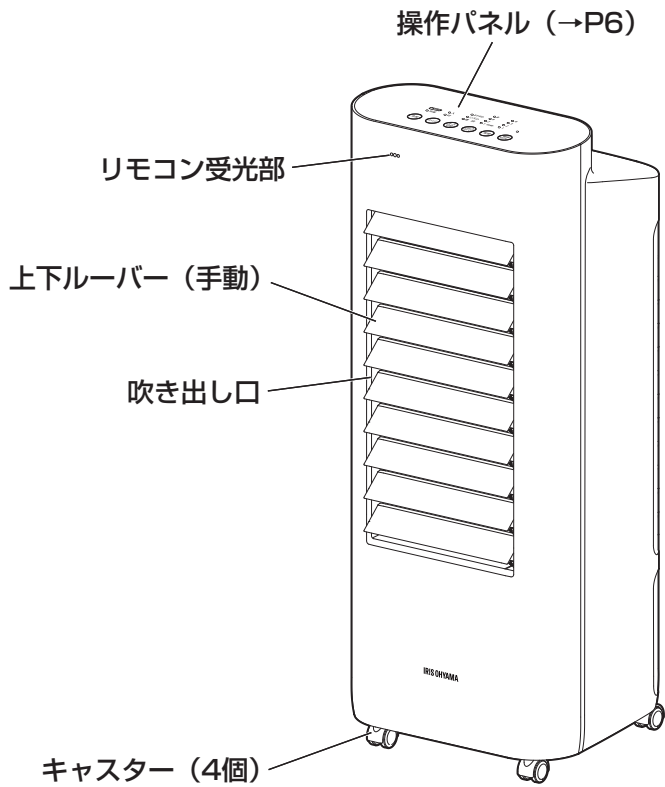
※ 冷風扇は水を蒸発させて空気を冷やすため、閉めきった部屋で使用すると湿度が上がります。また、湿度の高いところで使用したときは、水が蒸発しにくく、冷風効果が得にくいことがあります。

風通しの良いところで使用するか、エアコンと併用して使用してください。

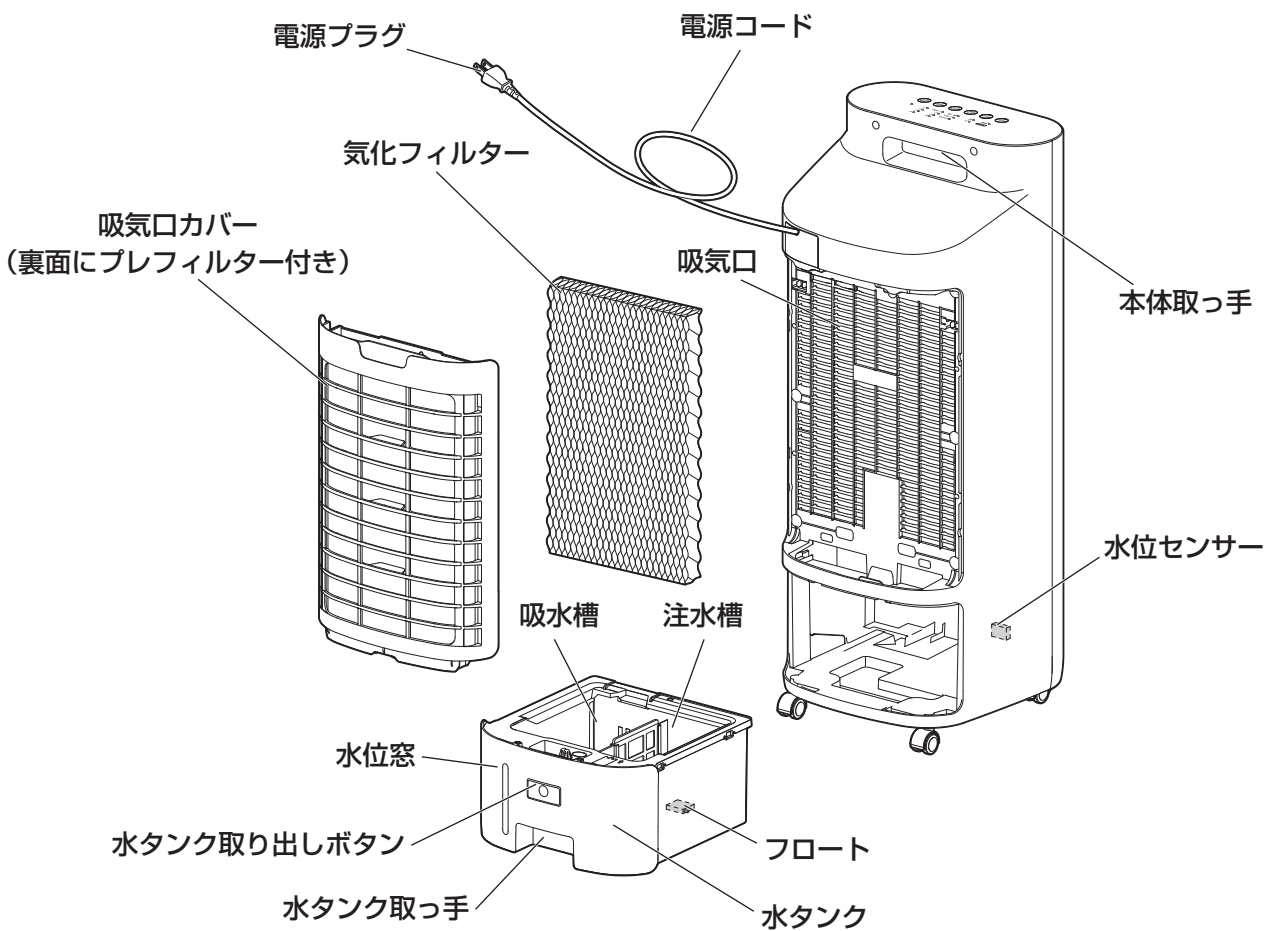
※ 冷風運転するときは、必ず水タンクに注水してください。水がないと冷風になりません。

各部の名称

■ 正面



■ 背面（内部）

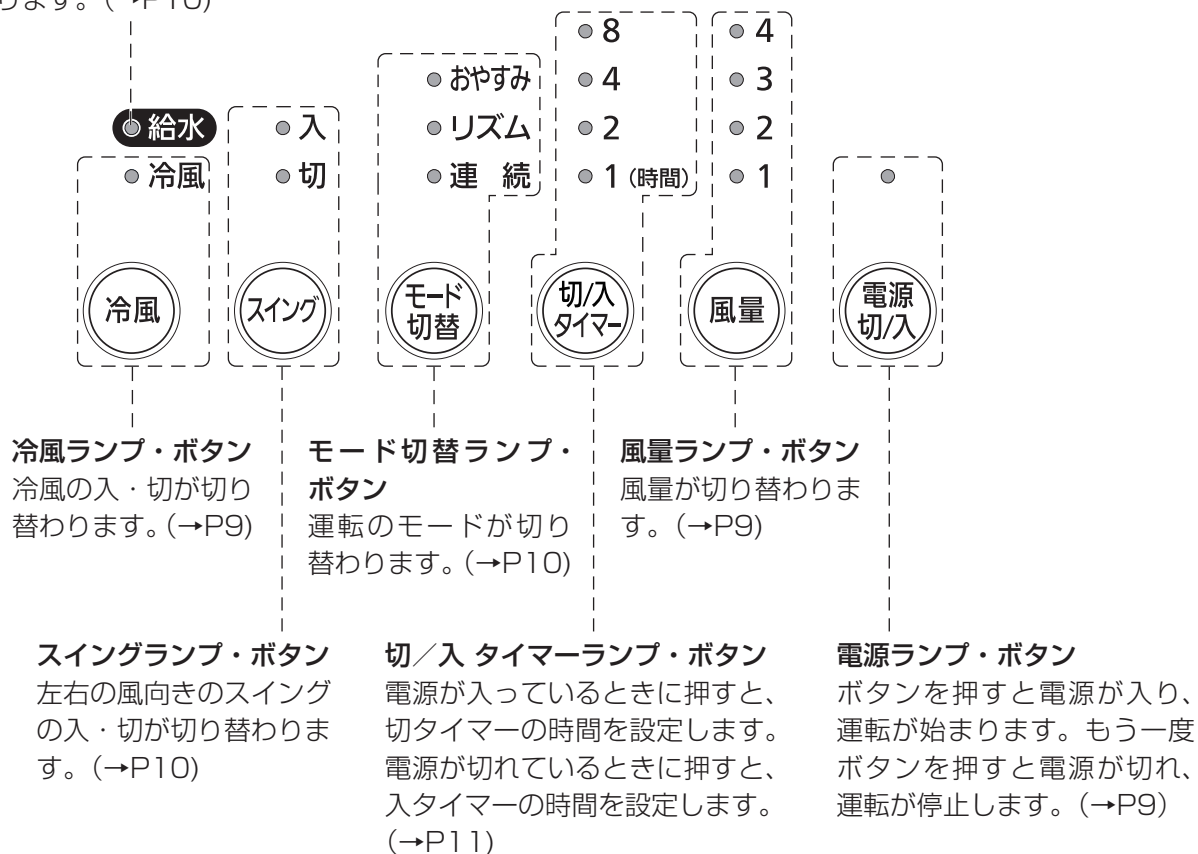


各部の名称 つづき

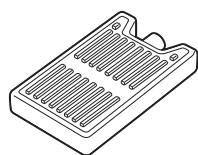
■操作パネル

給水ランプ

冷風運転中に水タンクの水が空に近くなると、ランプが点滅して冷風なしの運転になります。(→P10)



■付属品



冷却パック×2



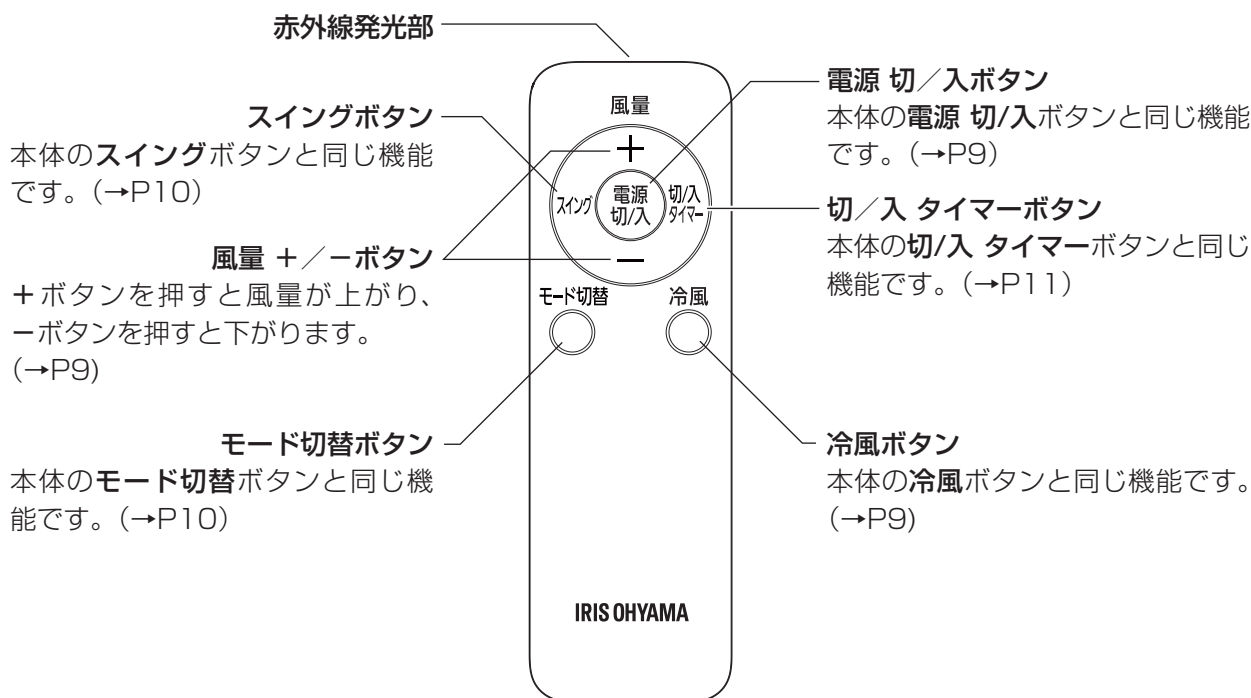
リモコン



単4形乾電池×2
(動作確認用)

リモコン

※ リモコンの赤外線発光部を、本体正面のリモコン受光部に向けて操作してください。

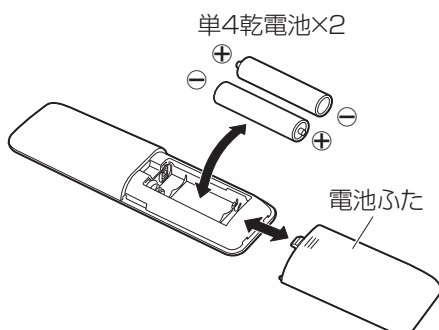


電池の入れかた

- ・最初に単4形乾電池2本を入れてください。
- ※ 付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池に交換してください。
- ・操作範囲がせまくなったり、ボタンを押しても動作しない場合は、新しい電池（単4形乾電池×2）に交換してください。

電池ふたを開け、電池を入れ替える

- ① 電池ふたを押さえながら下にずらして開けます。
- ② 交換する場合は古い電池を取り出し、⊕と⊖の向きを合わせて、新しい電池を入れます。
- ③ 電池ふたをしっかりと閉めてください。



- 電池を誤って取り扱うと、破裂・液もれ・やけど・周囲の汚損の原因になります。「電池についての注意」をよく読んで使用してください。

電池についての注意



- 電池を入れるときは、極性表示（プラス⊕とマイナス⊖の向き）に注意し、説明書の通りに正しく入れる
まちがえると、破裂・液もれにより、火災やけが、周囲を汚損する原因になります。

- 長期間使用しないときは電池を取り出しておく

液がもれて、火災やけが、周囲の汚損の原因になります。
液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。



分解禁止

- 分解しない
皮膚や衣服を損傷することがあります。



- 金属製の小物類と一緒に携帯・保管しない
ショートして液もれや破裂の原因になることがあります。

- 指定以外の電池は使用しない
破裂・液もれにより、火災やけが、周囲を汚損する原因になることがあります。

- 乾電池は絶対に充電しない
破裂・液もれにより、火災・けが・やけどの原因になります。

準備

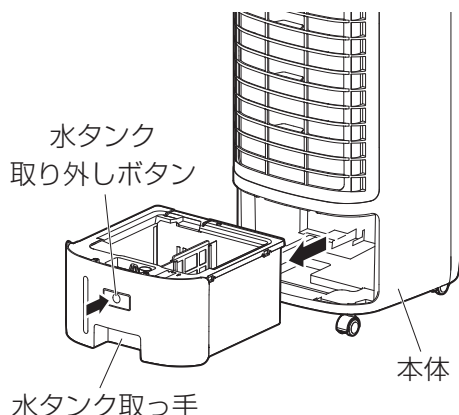
■水タンクに注水する

- ・冷風運転するためには、水タンクに注水してください。

※ 冷風なしの場合は、注水しなくても運転できます。

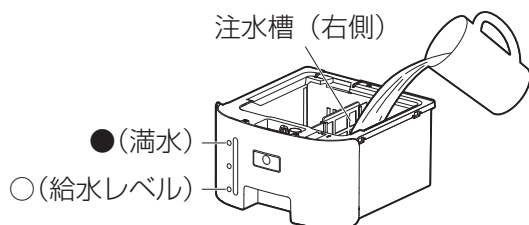
1 水タンクを外す

- ・水タンク取り外しボタンを押しながら、水タンク取っ手を持って引っ張ってください。
- ・運転停止直後は、気化フィルター内に残った水分が下りてきます。電源ランプの点滅中（5分間）は、水タンクを抜かないでください。



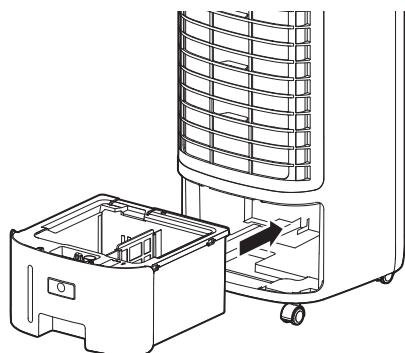
2 水タンクに注水する

- ・水タンクの注水槽（右側）に注水してください。
- ・水量は、必ず水位窓の○（給水レベル）以上、●（満水）以下にしてください。



3 水タンクを取り付ける

- ・奥までしっかり差し込んでください。
- ・吸水口が下がっている場合は、持ち上げてから水タンクを取り付けてください。（→P12）

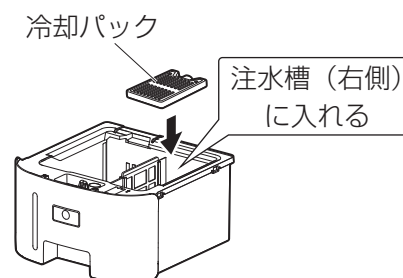


注意

- 必ず水道水を使用してください。40℃以上の水・汚れた水・ミネラルウォーター・アルカリイオン水・井戸水などは使用しないでください。
- 水に薬品・香料・精油などを入れないでください。
かびや雑菌が繁殖しやすくなったり、フィルターを汚損して、においや健康を害する原因になります。

■冷却パックの使いかた

- ・冷凍庫などで凍らせてから、水タンクの注水槽に沈めてください。冷風の温度を、より下げることができます。



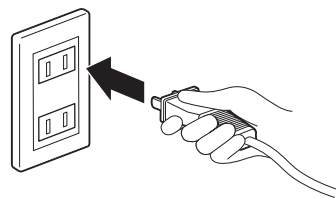
- ・再度凍らせるときは、表面の水分をよく拭き取ってから冷凍庫に入れてください。



注意

- 冷却パックは、常に清潔にして使用してください。
特に、食品に隣接して冷凍庫に入れたりするときは、洗ってから使用してください。

■電源プラグをコンセントに差し込む



使いかた

■ 運転を開始するには

停止中に**電源 切/入**ボタンを押す

- 電源プラグを抜かないでくと、前回使用した設定で運転が始まります。
- リモコンの**電源**ボタンでも操作できます。

※ 入タイマーが設定されていた場合は、解除されます。



■ 冷風

- 運転中に**冷風**ボタンを押すと、冷風運転になります。
- 再度ボタンを押すと、冷風は停止し、送風のための運転になります。

冷風 入で点灯 ● 冷風



※ 冷風運転するには、水タンクに○（給水レベル）以上、●（満水）以下の水を入れてください。（→P8）

■ 風量の切り替え

- 運転中に**風量**ボタンを押すたびに、風量が次のように切り替わります。



→ 1 → 2 → 3 → 4

- リモコンでは、**風量 +**ボタンを押すと風量が上がり、**-**ボタンを押すと風量が下がります。



1 ↔ 2 ↔ 3 ↔ 4

■ 運転を停止するには

運転中に**電源 切/入**ボタンを押す

- リモコンの**電源**ボタンでも操作できます。
- 運転が停止して、**電源**ランプが5分間点滅した後、電源が切れます。
- 運転停止直後は、気化フィルター内に残った水分が下りてきます。**電源**ランプの点滅中は、水タンクを抜かないでください。

※ 切タイマーが設定されていた場合は、解除されます。



5分間点滅 → 消灯



■ 切り忘れ防止機能

- 運転中に何も操作をしないまま15時間経過すると、運転を停止して電源が切れます。

■モード切り替え

- ・運転中に**モード**ボタンを押すたびに、モードが次のように切り替わります。

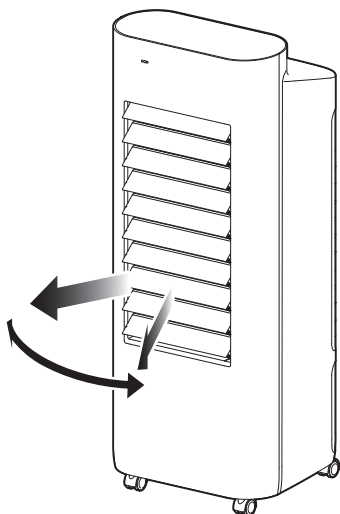


→ 連続 → リズム → おやすみ

連続	風量ボタンで設定した風量で運転します。
リズム	風量を変化させ、自然に近い風（リズム風）を再現します。
おやすみ	リズム風で運転して、徐々に風量を弱くします。

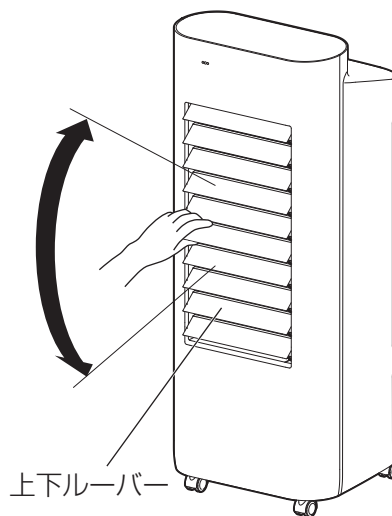
■スイング

- ・運転中に**スイング**ボタンを押すと、風向きが左右にスイングします。
- ・もう一度押すとスイングは停止します。



■上下風向き調節

- ・上下ルーバーは手で向きを調節することができます。

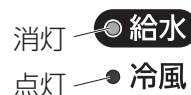


■給水ランプが点滅したら

- ・冷風運転中に水タンクの水位が空に近くなると、冷風なしの運転に切り替わります。
- ・冷風ランプは消灯し、**給水**ランプが点滅します。



- ・水タンクに注水して再度取り付け（→P8）、**冷風**ボタンを2回押すと、**給水**ランプは消灯して、再度冷風運転になります。



※ 給水以外でも、水タンクを出し入れすると、**給水**ランプが点滅します。冷風運転するには、水タンクをきちんと取り付けた後、**冷風**ボタンを2回押してください。

■切／入タイマー

切タイマー

- ・運転中に**切／入 タイマー**ボタンを押すたびに、次のようにランプが点灯して、切タイマーがスタートします。



→ 1 (時間) → 2 → 4 → 8 → 消灯 (タイマー解除)

- ・切タイマー運転すると、残り時間にしたがってランプが切り替わります。設定した時間になると運転が停止して、**電源**ランプが5分間点滅した後、電源が切れます。

8 → 4 → 2 → 1 (時間) → 消灯 (運転停止)

入タイマー

- ・停止中に**切／入 タイマー**ボタンを押すたびに、次のようにランプが点灯して、入タイマーがスタートします。



→ 1 (時間) → 2 → 4 → 8 → 消灯 (タイマー解除)

- ・入タイマーが動作すると、残り時間にしたがってランプが切り替わります。設定した時間になると電源が入って、前回使用した設定で運転を開始します。

8 → 4 → 2 → 1 (時間) → 消灯 (運転開始)



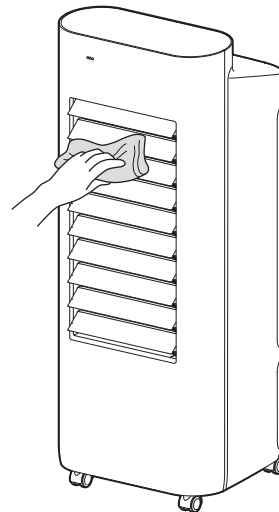
注意

- お手入れは、必ず運転を停止し、電源コードを抜いて行ってください。

- 洗剤、シンナー、ベンジン、漂白剤などは使用しないでください。

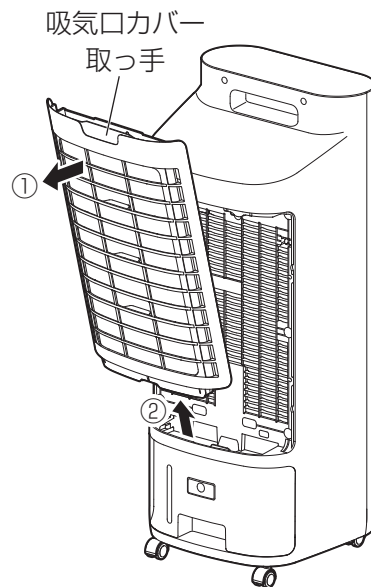
■本体

- ・柔らかい布でから拭きしてください。
- ・汚れが落ちにくいときは、薄めた中性洗剤を含ませた布で拭いた後、固くしぼった布などで洗剤分を拭き取ってください。



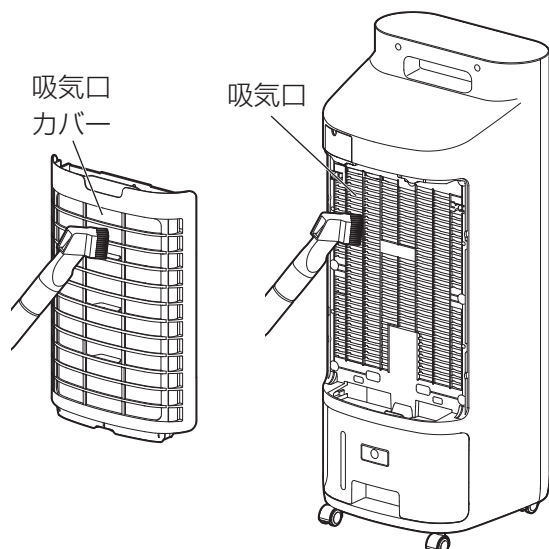
■吸気口カバー・気化フィルター・吸気口

1 吸気口カバーの取手を引っ張って外す



2 吸気口カバーと吸気口を掃除する

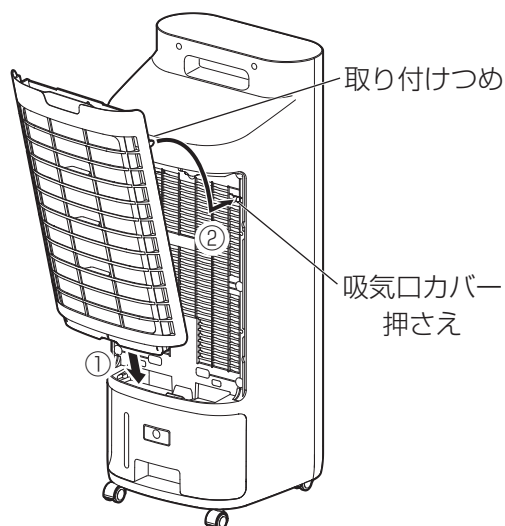
- ・ ブラシ付きノズルなどを取り付けた掃除機で、ほこりを取り除いてください。



※ 吸気口カバーの裏側にはプレフィルターが付いています。また、気化フィルターも入っています。破損しないように注意してください。

3 吸気口カバーを取り付ける

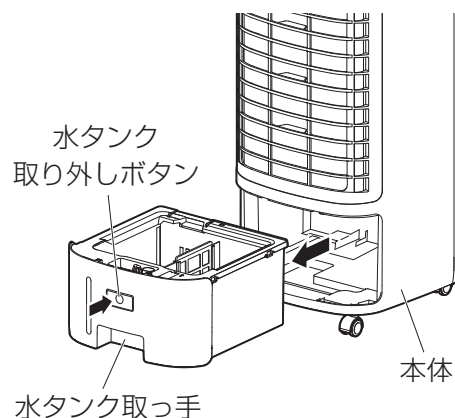
- ・ 吸気口カバーの下側を本体に差し込み、吸気口カバーの取り付けつめを、本体の吸気口カバー押さえに差し込んでください。



■ 水タンク

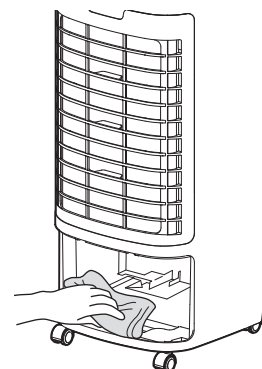
1 水タンクを取り外す

- ・ 水タンク取り外しボタンを押しながら、水タンク取っ手を持って引っ張ってください。



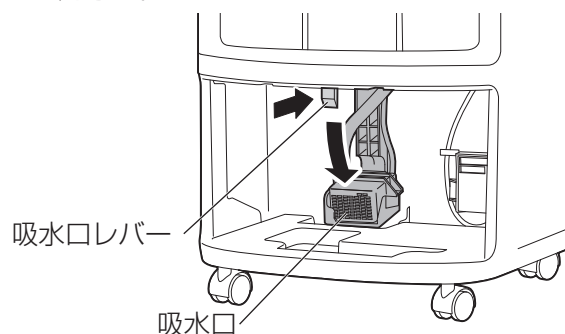
2 本体内部を掃除する

- ・ 水タンクを取り外した後は、吸水口から水がたれることがあります。拭き取ってください。

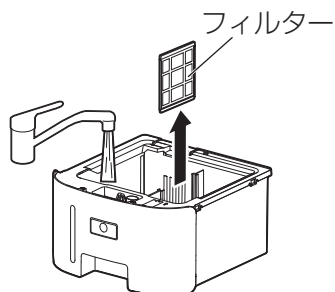


3 吸水口を掃除する

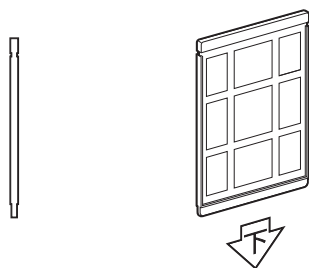
- ・ 本体内部の吸水口レバーを押すと、吸水口が下がってきます。吸水口にゴミなどが付着することがあるので、水でぬらしてよくしぼった布で拭いてください。
- ・ 拭いた後は、吸水口を持ち上げてもとに戻してください。



4 水タンクのフィルターを外し、フィルターと水タンクを水洗いする



- ※ 洗った後は、外側についた水滴をよく拭き取ってから、取り付けてください。
- ※ 水タンクのフィルターを取り付けるときは、上下の向きに注意してください。



5 水タンクを元どおり取り付ける

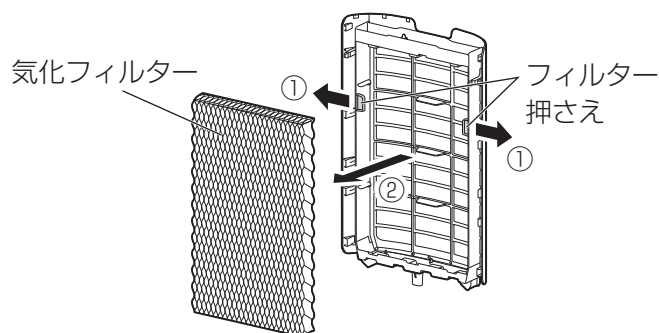
- ※ 冷風を使用するときは、水タンクに注水してください。

■ 収納するときは

長期保管するときは、気化フィルターのお手入れをしてください。

1 吸気口カバーを外す

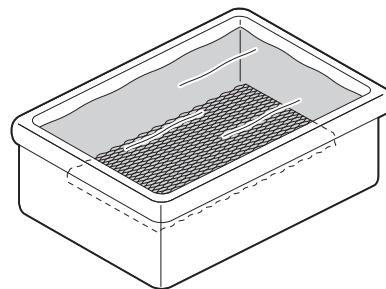
2 吸気口カバー裏側のフィルター押さえの部分を両側に広げ、気化フィルターを外す



- ※ 気化フィルターは破損しやすいので注意してください。多少角が破損しても使えますが、新しいフィルターをお求めになるときは、アイリスコール（裏表紙参照）へお問い合わせください。

3 気化フィルターを水洗いする

- ・ きれいな水にひたして洗ってください。



- ※ 気化フィルターは破損しやすいので、勢いよく水を当てないでください。
- ・ 洗った後は、よく乾かしてください。



注意

- 洗剤や薬品は使用しないでください。

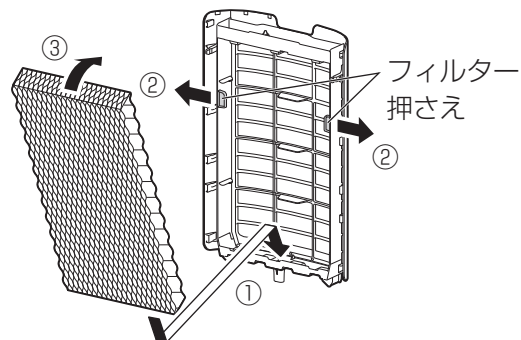
再度使用したときに、洗剤分や薬剤分が飛散するおそれがあります。

4 本体・吸気口カバー・水タンクなどをお手入れする

- ・ 11～13ページにしたがってお手入れしてください。

5 気化フィルターを取り付ける

- ・ 気化フィルターの下側を吸気口カバーに差し込み、フィルター押さえの部分を両側に広げながら、気化フィルターをそっと押しこんでください。



6 元どおり組み立てる

7 梱包箱またはビニール袋などに入れて、湿気の少ない場所で保管する

故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、以下の点を確認してください。

状 態	考えられる理由	処 置
運転しない (電源が入らない)	●電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていない	●電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
振動する	●設置が悪くがたついている	●水平で安定した場所に設置してください。
水がもれる	●水タンクの水が多すぎる	●水タンクに注水するのは、●（満水）までにしてください。
	●不安定な場所で使用している	●水平で安定した場所に設置してください。
	●水タンクに水が入ったまま移動した	●移動するときは、水タンクの水を捨ててください。
風量が少ない	●吸気口や送風口にほこりがたまっている	●お手入れをし、ほこりを取り除いてください。 (→P11～12)
冷風が出ない	●冷風が切になっている	●冷風ボタンを押して、冷風ランプを点灯させてください。
	●湿度の高いところで使用している	●湿度の高いところで使用すると、水分が気化しにくく冷風になりにくくなります。換気の良いところで使用するか、エアコンなどと適切に併用してください。
冷風が出ない (給水ランプが点滅している)	●水タンクの水が空に近くなった	●水タンクに注水してセットした後、冷風ボタンを2回押してください。
	●水タンクを取り付けた後、冷風ボタンを2回押さないと、冷風運転にならない	●水タンクに注水してセットした後、冷風ボタンを2回押してください。
エラー表示 (切/入タイマーランプが2回点滅を3秒おきに繰り返す)	●内部回路の故障の可能性がある	●修理専用コールへ相談してください。

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。



警告

●自分で分解・修理・改造しないでください。

仕様

電源	AC 100V 50 / 60Hz
定格消費電力	50 / 55W
水タンク容量（有効水量）	約5.5L（4.2L）
寸法（電源コードを除く）	幅298×奥行282×高さ752mm
質量（乾燥状態）	7.9kg
電源コード長さ	約2m

※ 商品の仕様は予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■ 保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。

■ 保証期間

保証期間は、保証書（裏表紙）に記載されています。保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■ 保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

■ 補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切り後、8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

長年ご使用の冷風扇の点検を！		
愛情点検 	こんな症状はありませんか ● 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなったり、こげくさいにおいがする ● 電源を入れても、運転しないときがある ● 運転中に異常な音がする ● 電源コードが傷ついている ● その他の異常や故障がある	故障や事故防止のため、電源を切って、コンセントから電源プラグを抜き、必ず販売店に点検を依頼してください。 ご使用中止

冷風扇 CTF-O1M

保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日 ※		保証期間	
年 月 日		お買い上げ日より：1年間	
お客様	お名前	※販売店	住所・店名
	ご住所 〒		
	電話 () -		電話 () -

販売店様へ： ※印欄は必ず記入してお渡してください。

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
- 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
- ご転居や贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、アイリスコールにお問い合わせください。
- 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - ① 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - ② お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - ③ 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - ④ 一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など）に使用された場合の故障及び損傷
 - ⑤ お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
 - ⑥ 本書の提示がない場合
 - ⑦ 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- ※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、「保証とアフターサービス」をご覧ください。

アイリスオーヤマ株式会社

〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号 ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/>

製品に関するお問い合わせは

アイリスコール 通話料無料

0120-311-564

修理に関するお問い合わせは

修理専用コール 通話料無料

0800-170-7070

受付時間 平日 9:00～17:00、土・日・祝日 9:00～12:00 / 13:00～17:00 （年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く）

FAX でのお問い合わせは

通話料無料

0800-888-2600

Web からのお問い合わせは

<https://www.irisohyama.co.jp/support/>

メールフォームにご記入のうえ送信してください